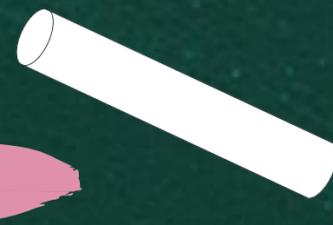


第7回

板書演習



12
月
12
日
(木)

R6.12.12

大分大学教育学部附属小学校



第7回板書演習

《附属小教員による板書指導》

- (1) 板書づくりの基本
- (2) 附属小板書の達人による「私の板書づくり」
- (3) 実践演習(グループ)



1年生 算数

ひだり

10/26 (水) たしざん

めあて

10をつくら、7+9の
けいさんのしかたをかんがえよう。

もんだい

ゆう子せんせい、
どんぐりを7こひろいました。
りなせんせいから9こもらいました。
ぜんぶでなんこになたてしうか。

しき $7 + 9 = 16$
こたえ 16こ

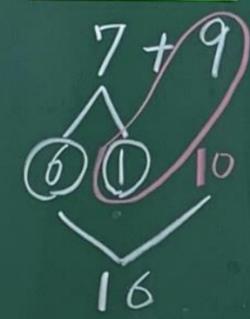
まへのしきとのちがひ
・9がうしろ(たすかず)
・9ではないかずが大きい

かだい

どちらで10をつくらといいかな。

<9と1で10をつくら>

わけらぎり



しきがえ

- ① 9はあと1で10
- ② 7を6と1にわけら
- ③ $9 + 1 = 10$
- ④ $10 + 6 = 16$



- 9がこわれちゃう
- 9+1がわかりやすい9と1で10
- △ 7をわけらるのがむずかしい

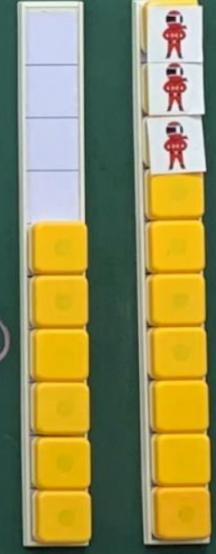
<7と3で10をつくら>

わけらぎり



しきがえ

- ① 7はあと3で10
- ② 9を3と6にわけら
- ③ $7 + 3 = 10$
- ④ $10 + 6 = 16$



- △ 7+3がむずかしい
- 9をわけらるほうがかんたん

<ポイント>
・わけらた○○
・10のおともだち⑩

- ① それぞれわかりやすいほうでいい。
- ② もうすにれんしゅうしよう!!

みぎ

10月26日 水曜日



本時のねらい： 繰り上がりのあるたし算 (7+9) の計算の仕方について、どうやって10のまとまりを作り、計算していくかをブロックや隠れた式を使って考えたり、それ

板書指導案

【学習標準】：繰り上がりのあるたし算 (7+9) の計算の仕方について、自分にとって分かりやすい方法で10のまとまりを作って考えている。

【思考・判断・表現】 (発言・ロイロノート・ノート)

具体的な児童の姿：自分にとって分かりやすい10のまとまりの作り方を考え、表現している姿。

- ・私は、7と3で10のまとまりを作る方が分かりやすいです。なぜかという、前の数を10にした方が簡単だからです。
- ・ぼくは、9と1で10のまとまりを作る方がいいです。なぜかという、7より9の方が10を作りやすいからです。

㉓ 10の作りかたをかながえて、7+9のけいさんをしよう。

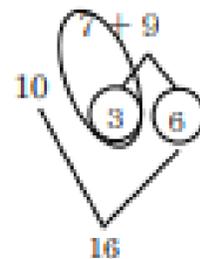
㉔ ゆう子せんせいは、どんぐりを7こひろいました。りなせんせいから、9こもらいました。ぜんぶでなんこになったでしょうか。

しき $7+9=16$
こたえ 16こ

【まえのしきとのちがい】
・9がうしろ
・9ではないかずが大きくなっている

㉕ どちらで10をつくってけいさんすればいいのかな。

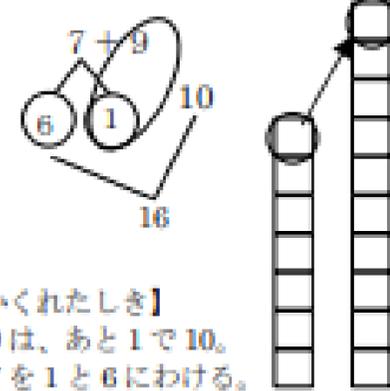
7と3で10をつくる



【かくれたしき】
① 7は、あと3で10。
② 9を3と6にわける。
③ $7+3=10$
④ $10+6=16$

【いいところ】
・まえのかずで10をつくったほうがかんたん。

9と1で10をつくる



【かくれたしき】
① 9は、あと1で10。
② 7を1と6にわける。
③ $9+1=10$
④ $6+10=16$

【いいところ】
・9と1で10をつくったほうがかんたん。

じぶんはどちらが10をつくりやすいかな。

㉖ じぶんが作りやすいほうで10をつくって、けいさんすればいい。

㉗ じぶんのわかりやすい10の作りかたとそのりゆう。

指導

- ① 前時までに学習したこと (10のまとまりを作って
- ② 7+9について、どうやって10のまとまりを作っ
- ③ 10のまとまりの作り方や計算の仕方について出し
- ④ 自分にとって10のまとまりをつくりやすい方法
- ⑤ 自分にとって分かりやすい10のまとまりの作り

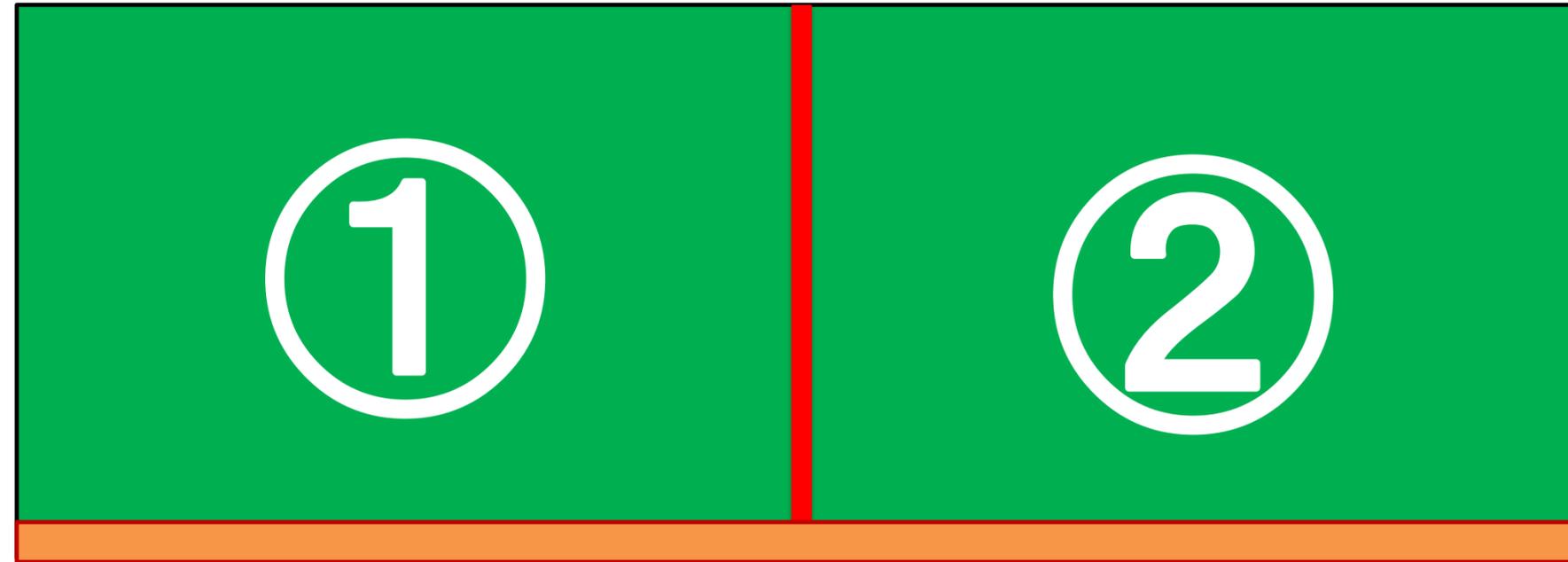
4) との違いを確認し、本時のめあてを設定する。

て話し合う。〈全体〉 (課題)

板書計画

板書づくりの基本①「黒板の分割」

・2分割



・3分割



5年 社会

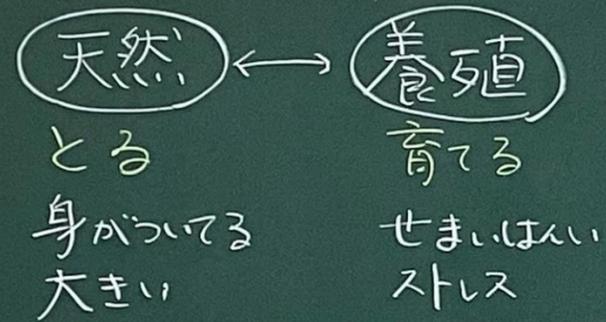
練

02:00

ま
ふ
予

手
考
問
実
結

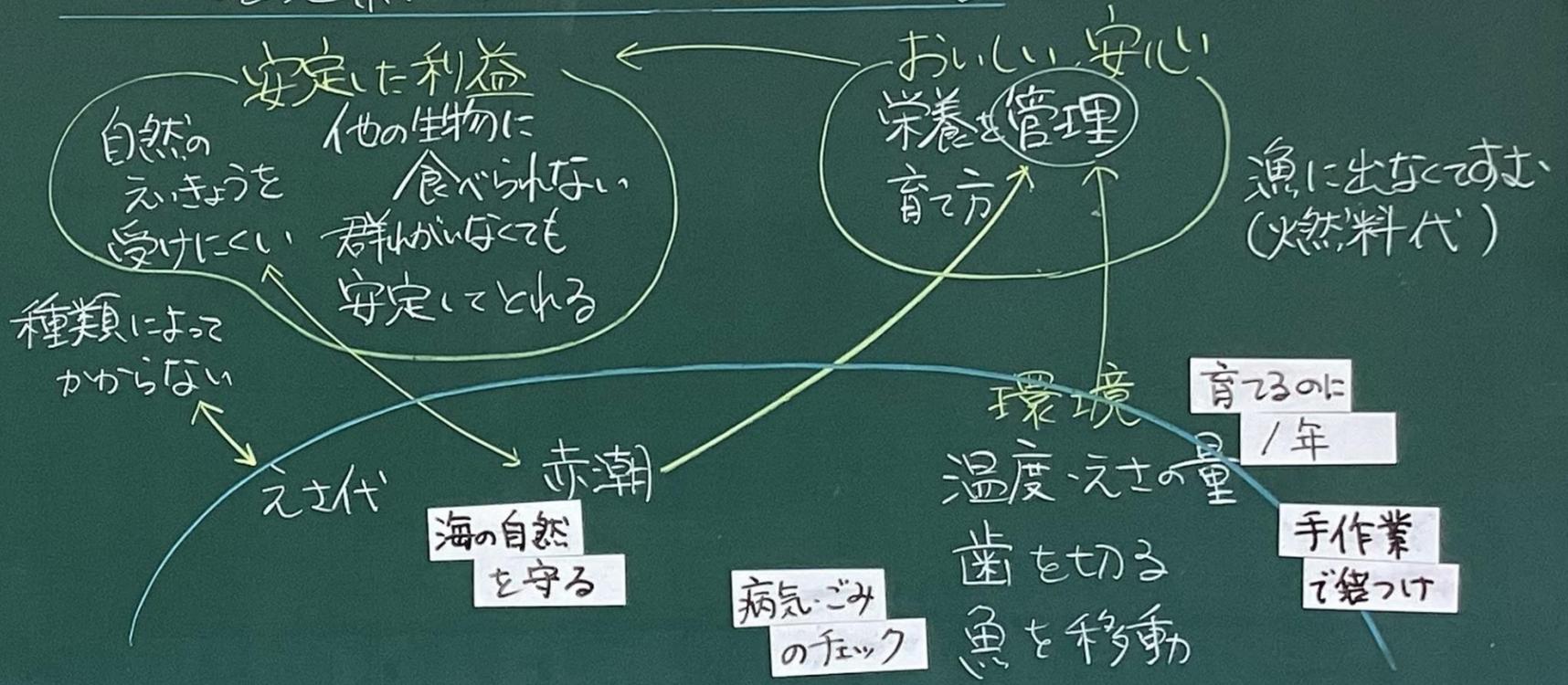
No.31 8/26 水産業



養殖業について調べよう

かきは、養殖 100%
 ほたては天然が多い
 ぶり、まじいは養殖が多い
 のりも養殖 100%

① どうして養殖業がさかんに行われているのか。



8月26日(金)

1年 算数

ひだり

10/26 (水) たしざん

めあて

10をつくら、7、7+9の
けいさんのしかたをかんがえよう。

もんだい

ゆう子せんせい、
どんぐりを7こひろいました。

りなせんせいから9こもらいました。

ぜんぶでなんこになつてしょうか。

しき $7 + 9 = 16$

こたえ 16こ

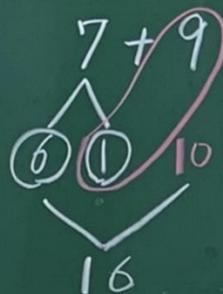
まへのしきとのちがい
・9がえろ(たすかず)
・9ではないがすが大きく

かだい

どちらで10をつくるといいかな。

<9と1で10をつくらている>

わけ-りざり



しきがえ

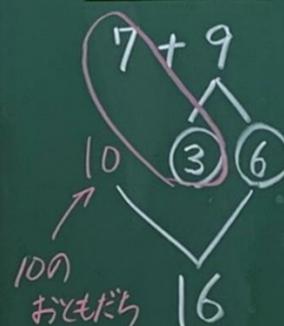
- ① 9はあと1で10
- ② 7を6と1にわけ
- ③ $9 + 1 = 10$
- ④ $10 + 6 = 16$



- 9がこわれちゃう
- 9+1がわかりやすい9と1で10
- △ 7をわけるのがむずかしい

<7と3で10をつくらている>

わけ-りざり



しきがえ

- ① 7はあと3で10
- ② 9を3と6にわけ
- ③ $7 + 3 = 10$
- ④ $10 + 6 = 16$



- △ 7+3がむずかしい
- 9をわけるほうがかんたん

みぎ

10

月

26

日

水

よう日

<ポイント>

- ・わけがた
- ・10のおとぼけ



- ① それぞれわかりやすい
ほうでいい。
- ② もうすしれんしゅう
しよう!!



3:00

草めつにいラス ルア 5分休み
あいさつ いどう 朝のようい
うんどう 朝のようい
せいせいの

あこがれをもたれる。



4年生



つきは2-3にきてニヤン。



あこがれは。合体



先生のいない伝説の学級会

- (学習計画)
- ① 計画を立てる
 - ② 文章を書く + (生) プレゼン作り
 - ③ しゃんしゃう
 - ④ リハサル
 - ⑤ 手直し
 - ⑥ はびよう会
 - ⑦ ふりかえり

おわり 学んだこと
自分たちのせい長

作せん おひこし おゆかれ フこそうじ フタ作せん	気もち かゆい	元気がよす エサも すぐ食べた 体のせい長 ニミシメートル まゆ
---------------------------------------	------------	---

はじめ どんな目で見て
いつそだてはじめたか

中

おもしろいもの、見つけたよ

め カイコをそだてて学んだこと
をお家の人にはびよう
しよう。

十月十九日
あかしのこ

2年 道徳

どうしてうまくいかないのかな

④ がんばっているのにうまくいかないことについて考えよう。

いっしょうけんめい走っているけど速く走れない。

だいたいけいのわを作ること。

しせんをよむすること。



コンコンお母さんかたーいもっとがんばらなよと



⑤ みきさんはどうして前より自分のことがすきになったのかな。



ほめてくれた

ほめてくれたから。

お母さんとおじいちゃんが

あたたかい言葉を言ってくれたから。

しゃほいしてもいい

おうえん

まわりの人を元気にできた

いっしょうけんめいがんばることは、まわりの人を元気にするから。

がんばっているしるし

自分のせい長

⑥ うまくいかななくてもがんばっていること

あわてずゆっくり読む。

いっじゃなくてもがんばることが大切。

字をていねいに書く練習をする。

板書づくりの基本②「板書とノートの一体化」

黒板と児童のノートのつながり

児童のノート

5年生 算数

板書

① いろいろな見方が割合を表そう

	人数
男子	20
女子	30
合計	50

① 5年生全体に対する男子の割合

人数 20 50
割合 □ |

$$20 \div 50 = 0.4$$

② 女子をもとにした時、男子の割合

人数 20 30
割合 □ |

$$20 \div 30 = \frac{2}{3}$$

③ 男子をもとにした時、女子の割合



1/30(水)
めめて
いろいろな見方が割合を表そう。

	人数
男子	20人
女子	30人
合計	50人

① 5年生全体に対する男子の割合。

人数 20 50
割合 □ |

式) $20 \div 50 = 0.4$ 0.4

② 女子をもとにした時の男子の割合

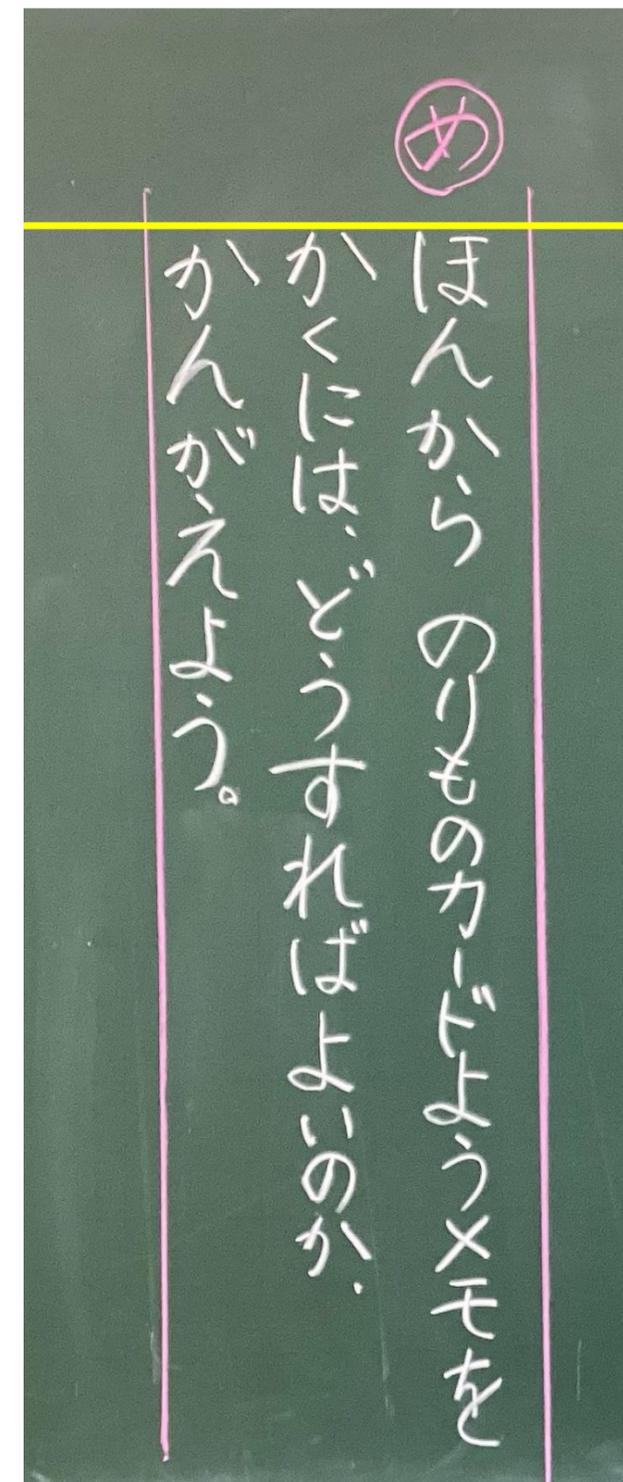
	人数
人数	20 30
割合	□

式) $20 \div 30 =$

板書づくりの基本③「改行の位置」等

○文節や一行の字数、行間の幅

○行頭の高さを揃える



○全体のバランス

1/30 ④ 玉入れの並び方について
考えよう。

④ 玉入れの並び方について考えよう。

子供の考えや意見等を
書いていく

○正しい表記

She can ~.

He can ~.

Yes, I can.

No, I can't.

板書の達人①

① 前時

$$\frac{6}{5} + \frac{8}{5} = \frac{14}{5}$$

前時の振り返り
本時との違いを比較できるようにする。

② 問題

② $\frac{1}{5} + \frac{3}{5}$ の計算のしかたを考えよう

めあて

帯分数!!!

本時のレベルアップポイントがわかるように色を変えて囲んだり、キーワードを残したりする。

③ 課題

③ どうすれば、帯分数のたし算を求められるかな?

子供と子供の言葉で課題を設定する。
キーワードが目立つようにする。

④ 見通し

見通し

「仮分数」...?
整数と分数を...?

言い過ぎず、放任になりすぎない程度のキーワードをヒントとして残す。

め 17つのうちのどれをメインにするか

- 視点
- ・ 大分の課題
 - ・ 劇向き
 - ・ 5-2
 - ・ だれでもわかる
 - ・ 身近

6:19

	大分の課題	劇向き	5-2オリジナル	だれでもわかる	身近
1. 貧困		○	○	×	
2. きが		△	○	×	
11. まち		△	△	×	△
12. 責任		○	○	○	
13. 気候		×	×	○	
14. 海		○	×	○	
15. 陸		○	△	○	△
16. 平和		△	○	△	

やたらと、話し合いが長引く...

それぞれがやりたいことを言うから、なかなかまとまらない...

視点

11/19 (木)

め 脚本について決めよう

- A 14から作り直す
- B 作ってくれたものをベース

- 視点
- ・ 5-2みんなでつけたいい関わり
 - ・ 2022年内に完成可能

25:00

A みんなでできる(議論) SDGs(大分の課題)

B 仮(しょう)ア行"アが生かされ みんなの関わりを伝えられる。

D 時間がかかる

子供と(が)決める

目的意識の確認

板書の達人②

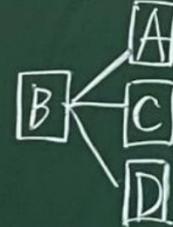
1/8

① バレーの試合の組み合わせを考えよう

バレーチーム **A** **B** **C** **D** (4チーム)

② どのチームとも1回ずつ試合をします。
試合の組み合わせを全て書きましょう。
何通りあるでしょう。

(ア)

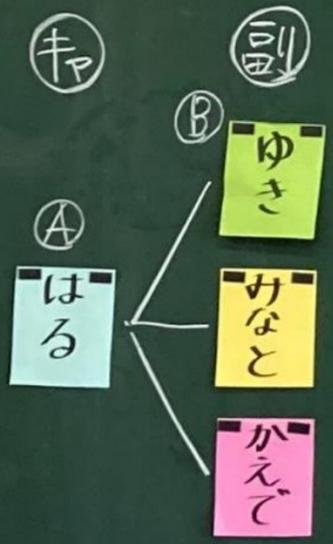


(イ)



12通り

6通り



② どちらの試合の数が正しいのかな。

12通り

6通り

A-B → B-A A-Bとかがる

何がダマ?

問題に1回ずつ

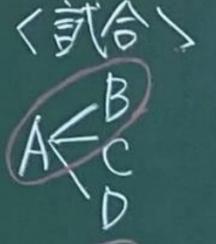
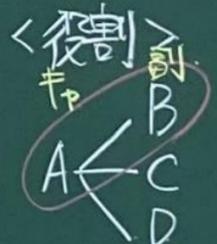
A-B, B-A

全く同じチームが試合

コートチェンジだけ
AとBが迷っただけ
すでに試合をしている

③ 試合の組み合わせは、順番は関係ないので
重なりとして消すことができる

③ 同じ4つから2つを選ぶ組み合わせ
なのに、役割と試合ではどうして
数え方がちがうのかな。



ゆき はる
① ②
立場がちがうので
入れ替えても成立

試合は入れ替えても成立
同じ試合だから
重なり

単元を通したキーワード、深める課題

板書とノート指導で子どもは変わる

○板書計画＝授業準備

1時間の授業が黒板1枚に収まる

○発達段階に応じた板書

低学年：正しく、大きく、ゆっくりと

中学年：ルールを決めて分かりやすく

高学年：子供の発言を取り入れる

【自分の板書のこだわりや大切にしていること】

- ・座席が後ろの児童も見えるように大きさに気をつけています。
- ・児童の考えを多く板書に位置付けるようにしています。
- ・白のチョークが1番多く使っています。分類したり大事な言葉を確認したりするときは、色チョークも使っています。

板書の達人④

きまり

放送の聞き方
はきものろえ
そびの時間
あいつ

守れている

雨の日には走る
ろいにおくろ
室内での声
(あはは)
遊ぶ場所

守れていない

ふ

大切にしたいきまり その理由
運動場の使い方 ↓ ボール遊びの場所
身だしなみ ↓ シャツをはか

遊ぶたい気持ちはあるけれど、
きまりを守ることをゆう先

外で遊ぶたいけれど...
守らないと外に行けなくなるかも...

あふないから

けがをするかもしれない

きまりだから

守らないといけない



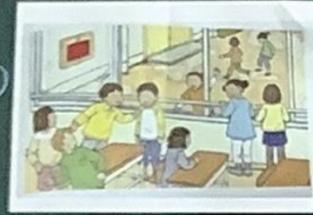
か

きまりじゃないか、と言ったゆういち、
どのような気持ちだっただろうか。

きまりを守るよりも遊ぶゆう先

大助

ドッジボールはうよ!



もう小雨だから
水たまりくらいいいじゃないか
遊ぶたくてたまらない...
すぐに遊ぶたい...
へんば旗とかムシー...

め

きまりを守ることの大切さ
について考えよう。

15

きまりじゃないか

板書の達人④

- 【道徳】導入の質問を板書の左端に書く
→振り返りの際に、自分の価値観がはじめとどのように変容したか、授業でどのような深まりがあったか子供たちが書きやすいのではないかと考えている。
- 課題の前の教材の内容を確認する際はフキダシや挿絵などを活用してどんな子供たちにも内容がすっと入るように → 課題の際に深く考えることにつながる
- この時間で中心的に考えてほしいことを「課題」として提示
- 内容によっては発表された順番に書くのではなく、価値や大まかなまとまりごとに分けて書くことも【例】〈友だちのため〉〈自分のため〉〈社会のため〉
- 何度も出てきた意見には線を引くなどして、子供の言葉がきちんと板書に位置づくように
- 「めあて」や「課題」は言いながら書く → 子供たちが聞きながら書けるようにするため

実習生のコメント

- ・板書演習で、行をそろえて書くことや、キリの良いところで改行することなどを学んだおかげで、今回の実習でいかせたと思う。
- ・板書は綺麗に書くだけでなく、スピードも大切であることを学ぶことができた。
- ・大学では字を書く練習はあり、効果を感じられたものの、構造的な板書についての学習内容は薄かった。

練習しておく方がよいこと



①チョークの色使い

- ・ポイントや大切なところは色を変える
- ・囲む、吹き出しなどで目立たせる

②定規を使って黒板に線を引くこと

- ・めあて、課題、まとめ、ふりかえり

③聞いたことを板書する

- ・スピードも大切

実際に板書を試してみましよう

